

ロールスクリーン

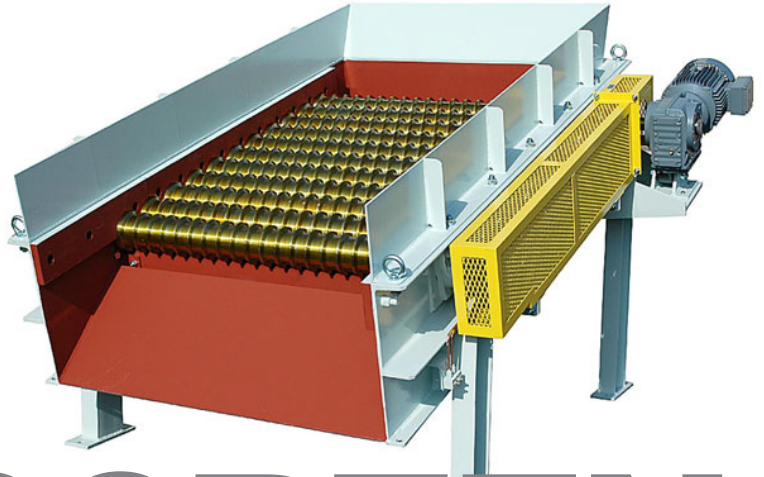


粉分の多い高含水原料中の原石回収に効果的です。

ROLL SCREEN

目詰まりが少なく、粉の居付きが少ないロールスクリーン。 コンパクトなプラント設計が可能です。

水分が多く、また粉分の多い原料から、原石を回収することは、これまで非常に困難とされていました。たとえば、網や棒を使用した振動式スクリーンの場合、フルイ目がすぐに詰まってしまうからです。そこで、フルイ分けを行う部分に回転するロールを使用し、なおかつ、ロール間への目詰まりを防止するための独特のクリーナを装着したのが、このロールスクリーンです。これにより、従来は困難とされていた泥分や表土、建設残土などのフルイ分けを行えるようになり、後段のプラントの安定操業を実現します。



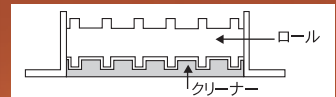
■ロールスクリーンの特徴■

■目詰まりが少ない

ロールスクリーンは、排出側に近づくにつれ、ロールの回転数が速くなるよう設計しています。これにより、ロール間に原料がはさまっても、回転するロールが原料を跳ね上げて、うしろの原石がこれを押すことで目詰まりを防ぎます。また、ツイン駆動を採用（特許出願中）しているため、万一、片側が停止しても一方は回転し続け、ロールスクリーン本来の機能を落としません。

■粉の居付きが少ない

ロールスクリーンは自浄作用を発揮するロール構造と独自のクリーナ（特許出願中）の設置により、ほとんど居付きがありません。また、水分及び粒度の影響も受けにくくなっています。



■大量処理が可能

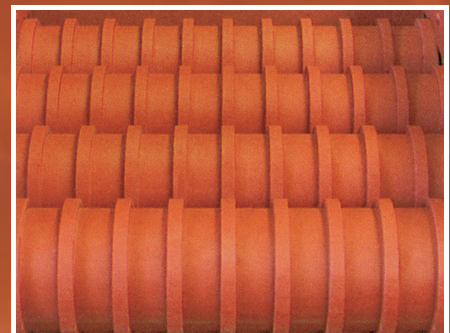
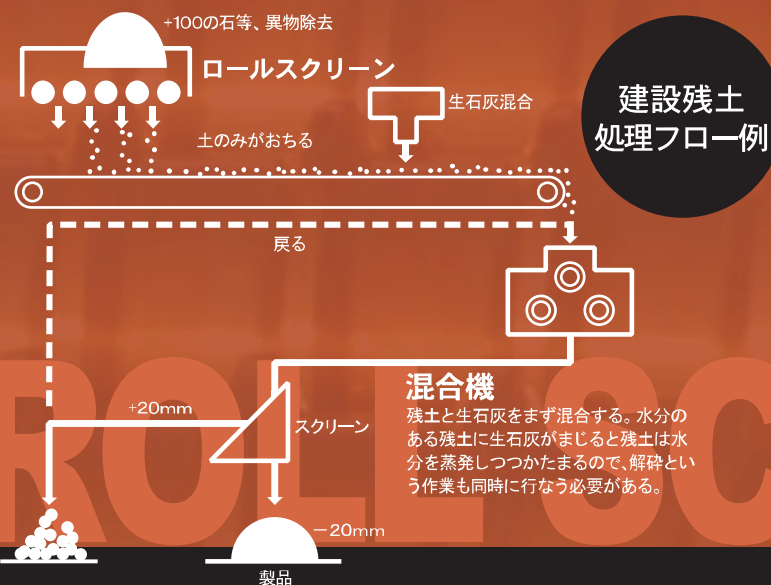
ロールスクリーンはロールの回転によって原料を移動（移送）させるため、つねにふるい分けられながら移動していくことになります。しかも排出側のロールは回転が速いため、均等なふるい分けを行うことができます。これにより大量処理を可能にし、しかも泥分を多く含む原料のふるい分けも可能にしました。プラント自体もコンパクトに設計することができます。

■メンテナンス性がよい

幸袋テクノのロールスクリーンはロールが3～4列ごとにパッケージ方式（特許）や、スプロケットなどの駆動部を分解せずに、ロールのみを交換する構造（特許）も取りそろえ（オプション）メンテナンス性は、飛躍的に高まっています。

■低振動・低騒音

幸袋テクノのロールスクリーンは、基本的な構造として振動機構の必要がなく、架台設計の際に軽量化することができます。しかも、網と原料とがたたき合う音や振動によって生じる音もありません。なお、ふるい分け条件によっては発振機構（特許）を付加（オプション）しますが、極めて小さな振動条件であるため、従来のスクリーンより軽量に設計することができます。

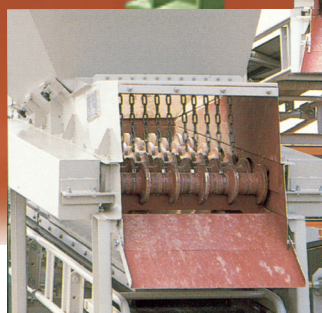
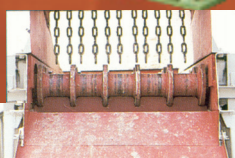


※ロールスクリーン

ロールスクリーン

ROLL SCREEN

目詰まりが少なく、粉の居付きが少ないロールスクリーン



※車載式も可能です

〈用途〉

- 建設残土、山砂などの異物処理
- 汚泥が付着した岩石の処理

低振動・低騒音で
大量処理可能！

大塊を含む粘性原料の篩い分け機

アイラス
フラットロッドスクリーン **EYELAS**

新登場



粘性原料

大塊処理



株式会社 幸袋テクノ 製造・販売 日鉄鉱業グループ

KOBUKURO techno CO.,LTD.

本社・工場 〒820-0192 福岡県飯塚市有安958-23
東京支店 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-8-4 東神田サンコービル5F
大阪支店 〒541-0048 大阪府中央区瓦町3-1-4 トーア紡ビル6F

TEL 0948-82-3907 FAX 0948-82-3915
TEL 03-5820-1914 FAX 03-5820-1915
TEL 06-6121-6910 FAX 06-6121-6915

<http://www.kobukuro.co.jp>